

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2015年8月6日から2022年8月8日まで	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「世界金融機関ハイブリッドマザーファンド」の受益証券。
	世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	国内外の主要金融機関が発行したユーロ建て・米ドル建ての優先出資証券、劣後債等。
主な組入制限	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンド受益証券への投資割合は、制限を設けません。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・優先出資証券および劣後債への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は制限を設けません。
	世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・優先出資証券、劣後債への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年1回(原則として毎年8月6日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。原則として毎決算日に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。	

CAM世界金融機関 ハイブリッド・ファンド (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／資産複合

運用報告書(全体版)

第2期

決算日：2017年8月7日

作成対象期間：2016年8月9日～2017年8月7日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、「CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジなし)」は、2017年8月7日に第2期の決算を行いました。ここに、期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目16番1号いちご神田錦町ビル5階
< お問い合わせ先 >

【電話番号】 03-5259-7401

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

【ホームページ】 <http://www.capital-am.co.jp/>

◆ 設定以来の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		税込分配金	期中騰落率		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2015年8月6日	10,000	—	—	—	20
1期(2016年8月8日)	8,370	0	△16.3	98.4	80
2期(2017年8月7日)	9,389	0	12.2	80.1	43

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額は1万円当たり。(基準価額の全てに共通)

(注3) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率と組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

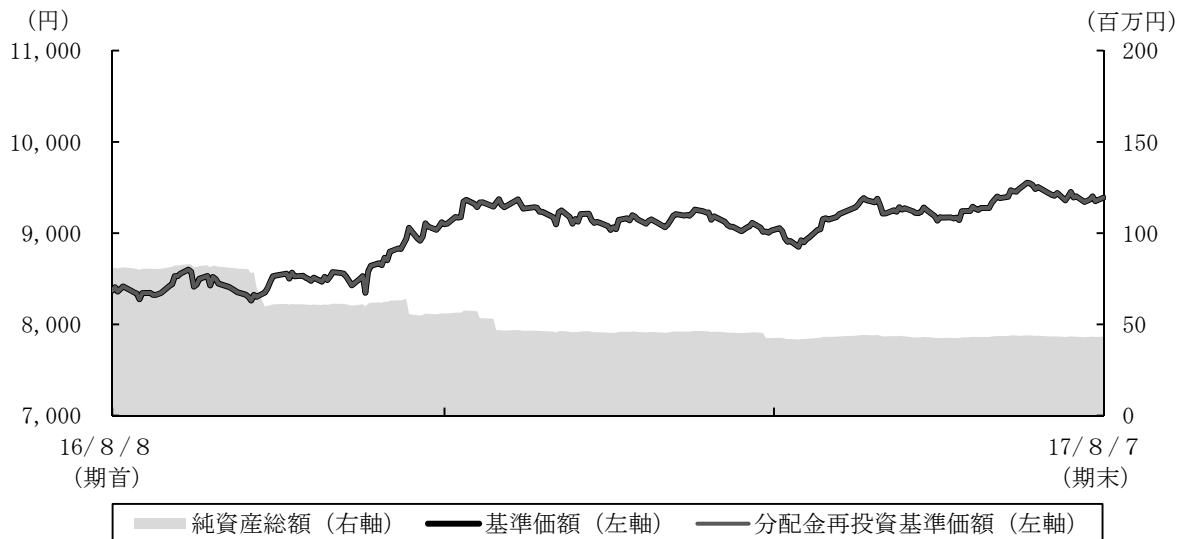
年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2016年8月8日	8,370	—	98.4
8月末	8,529	1.9	93.3
9月末	8,302	△0.8	103.3
10月末	8,562	2.3	76.0
11月末	8,964	7.1	88.2
12月末	9,284	10.9	90.3
2017年1月末	9,143	9.2	74.3
2月末	9,092	8.6	70.4
3月末	9,112	8.9	73.4
4月末	9,148	9.3	76.9
5月末	9,218	10.1	78.7
6月末	9,383	12.1	77.0
7月末	9,342	11.6	80.1
(期末)			
2017年8月7日	9,389	12.2	80.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

◆ 運用経過の説明 ◆

● 基準価額の推移 (2016年8月9日～2017年8月7日)



第2期首：8,370円

第2期末：9,389円 (当期分配金0円)

騰落率：12.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因 (2016年8月9日～2017年8月7日)

当期の基準価額の変動要因としましては、組み入れている米ドル建てハイブリッド証券の価格変動とインカム収入により+6.2%、ユーロ建てハイブリッド証券では+0.7%でした。

また、当ファンドにおいては為替変動リスクの低減をはかるための為替ヘッジは行っていません。そのため、当期では為替変動により米ドル/円で+5.4%、ユーロ/円で+4.2%基準価額が変動しました。

この他に、中途解約に伴う信託財産留保金、信託報酬支払等が基準価額に影響を与えています。

※ ハイブリッド証券とは、優先出資証券、劣後債等を指します。

● 投資環境 (2016年8月9日～2017年8月7日)

(債券市場)

米国債券市場における指標銘柄の国債10年物利回りは期初の時点では1.59%でした。その後は好調な米国経済を背景にトランプ新政権がスタートすると、FRBによる利上げを見越して長期金利は上昇し、利上げ後の12月16日には2.6%手前まで急上昇しました。しかしその後はトランプ政権による政策実行力に疑問が生じると共に、北朝鮮問題等地政学リスクの高まりを受けた“質への逃避”による債券買いの動きが広がり、全般に金利低下(価格上昇)となり、期末には2.26%まで低下して期末となりました(期中67bpの上昇)。

欧州債については、期初においては欧州金融不安や英国のEU離脱問題などを受け、ドイツ10年国債の利回りは-0.07%でしたが、欧州中央銀行(ECB)による強力な金融緩和の推進に加え、2017年4月には親EU派のマクロン大統領がフランスで誕生したこともあり、“リスクオン”から株式買い、債券売りの流れとなり、期末には0.47%(期中54bpの上昇)となりました。

ハイブリッド証券市場につきましては、期初においては欧州金融不安やモーゲージ債販売問題でドイツバンク等が軟調となる地合いでスタートしましたが、2017年に入るとこうした問題が沈静化し、一時間問題となったコール・スキップ問題もクレディ・アグリコルが買入消却で対応するなど落ち着きを見せ、ハイブリッド証券市場全般は堅調に推移しました。

※ 1bp (basis point、ベースポイント) = 0.01%

(為替市場)

当期を通じて、米ドル/円、ユーロ/円ともに円安が進行しました。北朝鮮問題等地政学的リスクが高まった際に有事の円買いが進む局面もありましたが、2016年11月のトランプ政権の誕生とその後の連邦準備制度理事会(FRB)による利上げに伴う米ドル買い、更に2017年4月の親EU派のマクロン大統領がフランスで誕生したことによるユーロ買い等の動きを受けて、全般的には大幅な円安が進行しました。

当期末の米ドル/円は110.68円で期中8.4%の円安、ユーロ/円は130.47円で期中15.2%の大幅な円安となりました。

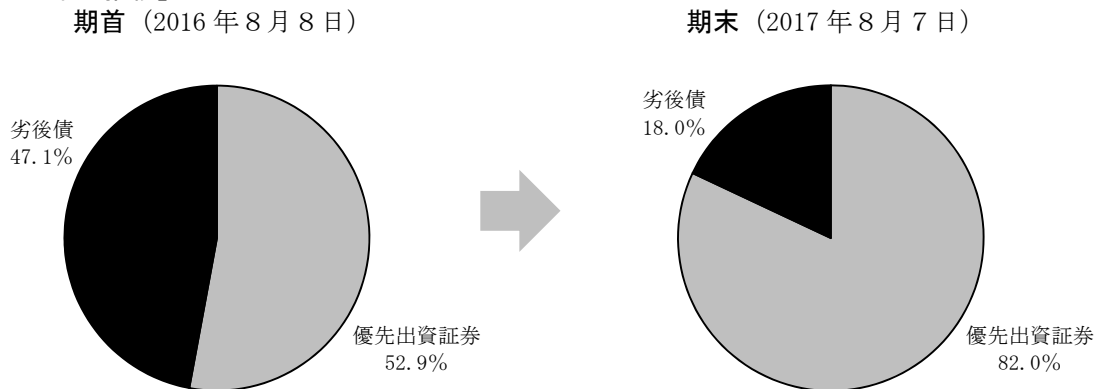
● 当該投資信託のポートフォリオ (2016年8月9日～2017年8月7日)

前期に引き続き、世界金融機関ハイブリッドマザーファンドを通じて米ドル建て、ユーロ建てのハイブリッド証券に投資しました。

銘柄につきましては、期初に一旦売却したドイツバンクの優先出資証券への投資を2017年に入って慎重に再開した他、ファースト・コール日の近い銘柄 (UBS のユーロ建て劣後債等) を売却し、買入消却を発表したクレディ・アグリコルの劣後債の買入消却にも応募しました。一方、組入比率の上昇を意図してモルガン・スタンレーの優先出資証券を買い付けました。

当期末の世界金融機関ハイブリッドマザーファンドのポートフォリオは、米ドル建てハイブリッド証券を11銘柄で純資産比69.6%、ユーロ建てハイブリッド証券を2銘柄、16.8%、合計では13銘柄、86.4%の組み入れとなっています。

【種類別比率の推移】



※マザーファンドにおけるポートフォリオに対する比率です。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

● 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当期の収益分配は見送らせていただきました。
留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第2期
	2016年8月9日～ 2017年8月7日
当期分配金 (対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	555

(注1) 当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

(注2) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税引前)と一致しない場合があります。

◆ 今後の運用方針 ◆

足下の世界経済情勢は、オバマケア代替・廃止法案が上院で否決され、8月休会を経て9月に審議再開されても年内の税制改革法案通過が怪しい情勢となってきました。ロシアゲート捜査がトランプ大統領の親族に及んでおり、政権幹部の辞任や更迭が続いていることから、政権実行能力は疑問視されたままとなっています。

FRBは9月にもバランスシート縮小に踏み切る考えを表明していますが、今後発表される景気指標やインフレ率次第では、年内の追加利上げが難しくなる可能性もあります。8月は各国とも中央銀行の政策決定会合はありませんが、8月下旬に開催されるジャクソンホールでの経済シンポジウムでのFRBのイエレン議長とECBのドラギ総裁の発言内容に注目が集まりそうです。

欧州では、ECBが次回9月の理事会で来年1月以降のテーパリング(段階的緩和縮小)を議論する模様で、10月以降の英国によるEU離脱の本格的協議の行方と合わせて、金融政策の正常化に向けて動けるかどうか注目が集まるところです。

ハイブリッド証券市場は、全般的な金利上昇が銀行収益を改善するのではという見方や、トランプ政権によるボルカー・ルールの見直しによる規制緩和期待もあり、全般的には堅調に推移することが期待されます。

当ファンドにおきましては、引き続き世界金融機関ハイブリッドマザーファンドの組み入れを高位に保ってまいります。また、マザーファンドにおきましては、現状のポートフォリオをベースにハイブリッド証券の特性を活かした高い直接利回りを維持しつつ、より有利な利回りの確保を行えるよう投資銘柄の選別と分散を実施していく方針です。

◆ 当期中の1万円(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	160円	1.777%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率です。 なお、期中の平均基準価額は8,995円です。
(投 信 会 社)	(58)	(0.646)	・ 委託した資金の対価
(販 売 会 社)	(97)	(1.077)	・ 運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.054)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	132	1.468	(b) その他費用は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	(56)	(0.617)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保 管 費 用)	(13)	(0.142)	・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(64)	(0.709)	・ 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	292	3.245	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 「比率」欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◆ 期中の売買及び取引の状況(2016年8月9日から2017年8月7日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	—	—	54,312	48,670

(注) 単位未満は切捨て。

◆ 主要な売買銘柄(2016年8月9日から2017年8月7日まで)

世界金融機関ハイブリッドマザーファンドにおける公社債の売買

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
パークレイズ 4.750% 2020/3/15	41,826	ING 6.125% 2018/5/29	32,603
モルガン・スタンレー 5.450% 2019/7/15	26,472	アクサ 6.379% 2036/12/14	32,490
BNPパリバ 7.195% 2037/6/25	24,895	UBS 7.152% 2017/12/21	31,588
ドイツバンク 8.000% 2018/5/15	19,312	BNPパリバ 7.781% 2018/7/2	19,654
アクサ 6.379% 2036/12/14	17,537	パークレイズ 4.750% 2020/3/15	19,644
HSBC 10.176% 2030/6/30	17,273	HSBC 10.176% 2030/6/30	16,693
シティグループ 6.300% 2024/5/15	16,362	ウェルズ・ファーゴ 7.980% 2018/3/15	16,548
アクサ 6.463% 2018/12/14	15,778	ドイツバンク 8.000% 2018/5/15	15,237
ウェルズ・ファーゴ 7.980% 2018/3/15	11,887	シティグループ 6.125% 2020/11/15	15,101
JPモルガン・チェース 7.900% 2018/4/30	10,888	クレディ・アグリコル 8.375% 2019/10/13	14,579

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

◆ 利害関係人との取引状況等(2016年8月9日から2017年8月7日まで)

世界金融機関ハイブリッドマザーファンドにおける利害関係人との取引状況

決 算 期	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公 社 債	202	—	—	298	14	4.7
為 替	94	—	—	182	—	—
コール・ローン	2,707	—	—	—	—	—

(注1) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、以下の通りです。

キャピタル・パートナーズ証券

(注2) 平均保有割合15.9%

※ 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

◆ 組入資産の明細 (2017年8月7日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首 (前 期 末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	千口 95,267	千口 40,954	千円 40,033

(注) 単位未満は切捨て。

◆ 投資信託財産の構成 (2017年8月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	千円 40,033	% 91.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,708	8.5
投 資 信 託 財 産 総 額	43,742	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、8月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.68円、1ユーロ=130.47円です。

(注3) 世界金融機関ハイブリッドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(274,444千円)の投資信託財産総額(276,293千円)に対する比率は、99.3%です。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年8月7日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	43,742,077円
コール・ローン等	3,708,862
世界金融機関ハイブリッド マザーファンド(評価額)	40,033,215
(B) 負 債	548,169
未払信託報酬	386,169
その他未払費用	162,000
(C) 純資産総額(A-B)	43,193,908
元 本	46,002,462
次期繰越損益金	△ 2,808,554
(D) 受益権総口数	46,002,462口
1万口当り基準価額(C/D)	9,389円

<注記事項>当運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 期首元本額	96,464,922円
期中追加設定元本額	163,305円
期中一部解約元本額	50,625,765円

◆ お知らせ ◆

該当事項はありません。

◆ 損益の状況

当期：自2016年8月9日 至2017年8月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 2,668円
受 取 利 息	235
支 払 利 息	△ 2,903
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	6,328,863
売 買 益	7,962,625
売 買 損	△ 1,633,762
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,644,547
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,681,648
(E) 前期繰越損益金	△ 6,940,093
(F) 追加信託差損益金	△ 550,109
(配当等相当額)	(44,752)
(売買損益相当額)	(△ 594,861)
(G) 合 計(D+E+F)	△ 2,808,554
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,808,554
追加信託差損益金	△ 550,109
(配当等相当額)	(45,330)
(売買損益相当額)	(△ 595,439)
分配準備積立金	2,511,317
繰越損益金	△ 4,769,762

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

世界金融機関ハイブリッドマザーファンド

運用報告書

第 2 期

(決算日：2017年8月7日)

(作成対象期間：2016年8月9日～2017年8月7日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限（設定日：2015年8月6日）
運用方針	信託財産の安定した収入の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な運用対象	国内外の主要金融機関が発行した米ドル建て・ユーロ建ての優先出資証券、劣後債等
主な投資制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 優先出資証券、劣後債への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

◆ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組入比率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率		
(設 定 日) 2015年8月6日	円 10,000	% —	% —	百万円 26
1 期 2016年8月8日	8,461	△15.4	98.6	313
2 期 2017年8月7日	9,775	15.5	86.4	276

(注1) 基準価額は1万円当たりです。(基準価額の全てに共通)

(注2) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注3) 適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

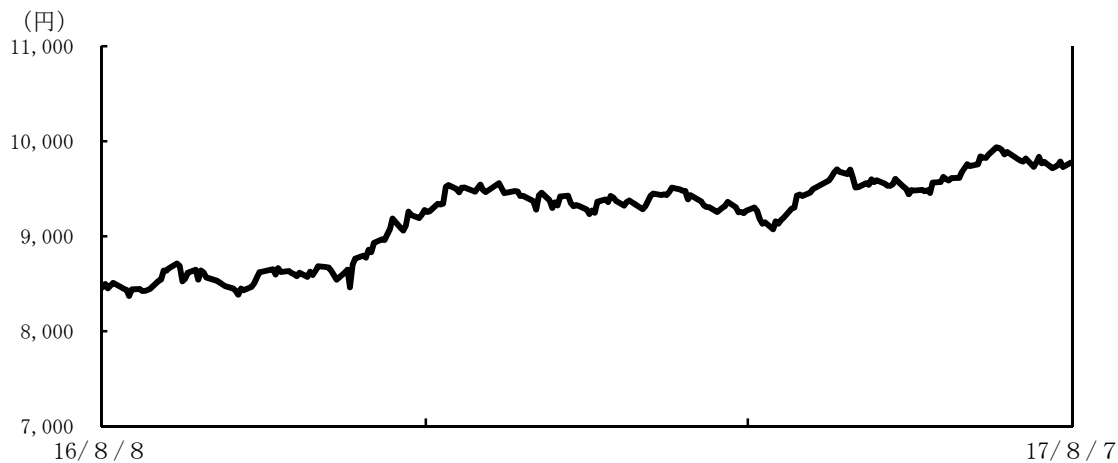
◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首) 2016年8月8日	円 8,461	% —	% 98.6
8 月 末	8,638	2.1	93.3
9 月 末	8,431	△ 0.4	92.3
10 月 末	8,675	2.5	76.3
11 月 末	9,111	7.7	89.6
12 月 末	9,464	11.9	92.1
2017年1 月 末	9,350	10.5	82.4
2 月 末	9,316	10.1	77.9
3 月 末	9,361	10.6	81.0
4 月 末	9,424	11.4	85.9
5 月 末	9,530	12.6	86.2
6 月 末	9,739	15.1	84.1
7 月 末	9,717	14.8	86.5
(期 末) 2017年8月7日	9,775	15.5	86.4

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

◆ 基準価額の推移(2016年8月9日～2017年8月7日)



◆ 1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用 等)	14円 (14)
合 計	14

(注) 費用項目の概要及び注記については、6頁の費用明細をご参照下さい。

◆ 期中の売買及び取引の状況(2016年8月9日から2017年8月7日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	米ドル建て	アメリカ	優先出資証券 602	千米ドル 598
		ケイマン諸島	優先出資証券 —	112
		ジャージー	優先出資証券 153	146
		フランス	劣後債 524	646
国	ユーロ建て	アメリカ	優先出資証券 158	千ユーロ 134
		イギリス	優先出資証券 357	159
		オランダ	劣後債 —	269
		スイス	劣後債 —	263
		フランス	劣後債 —	279

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 主要な売買銘柄(2016年8月9日から2017年8月7日まで)

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
パークレイズ 4.750% 2020/3/15	41,826	ING 6.125% 2018/5/29	32,603
モルガン・スタンレー 5.450% 2019/7/15	26,472	アクサ 6.379% 2036/12/14	32,490
BNPパリバ 7.195% 2037/6/25	24,895	UBS 7.152% 2017/12/21	31,588
ドイツバンク 8.000% 2018/5/15	19,312	BNPパリバ 7.781% 2018/7/2	19,654
アクサ 6.379% 2036/12/14	17,537	パークレイズ 4.750% 2020/3/15	19,644
HSBC 10.176% 2030/6/30	17,273	HSBC 10.176% 2030/6/30	16,693
シティグループ 6.300% 2024/5/15	16,362	ウェルズ・ファーゴ 7.980% 2018/3/15	16,548
アクサ 6.463% 2018/12/14	15,778	ドイツバンク 8.000% 2018/5/15	15,237
ウェルズ・ファーゴ 7.980% 2018/3/15	11,887	シティグループ 6.125% 2020/11/15	15,101
JPモルガン・チェース 7.900% 2018/4/30	10,888	クレディ・アグリコル 8.375% 2019/10/13	14,579

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 利害関係人との取引状況等(2016年8月9日から2017年8月7日まで)

当期における利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公 社 債	202	—	—	298	14	4.7
為 替	94	—	—	182	—	—
コール・ローン	2,707	—	—	—	—	—

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、以下の通りです。

キャピタル・パートナーズ証券

◆ 組入資産の明細(2017年8月7日現在)

(A)外国(外貨建) 公社債の種類別開示

区 分	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
		千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
米ドル建て	アメリカ	1,046	1,095	121,271	43.9	—	43.9	—	—
	フランス	351	389	43,083	15.6	—	15.6	—	—
	ジャージー	91	144	16,045	5.8	—	5.8	—	—
	ケイマン諸島	100	107	11,866	4.3	—	4.3	—	—
	小 計	1,588	1,737	192,267	69.6	—	69.6	—	—
ユーロ建て	イギリス	200	199	25,964	9.4	—	9.4	—	—
	アメリカ	150	157	20,489	7.4	—	7.4	—	—
	小 計	350	356	46,453	16.8	—	16.8	—	—
合 計	—	—	238,720	86.4	—	86.4	—	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(B)銘柄別開示

銘柄	種類	年 利率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
バンク・オブ・アメリカ 8.000% 2018/1/30	優先出資証券	8.000	148	152	16,841	—
バンク・オブ・アメリカ 8.125% 2018/5/15	優先出資証券	8.125	74	77	8,550	—
シティグループ 5.950% 2025/5/15	優先出資証券	5.950	85	92	10,207	—
シティグループ 6.300% 2024/5/15	優先出資証券	6.300	140	152	16,928	—
JPモルガン・チェース 7.900% 2018/4/30	優先出資証券	7.900	220	227	25,201	—
モルガン・スタンレー 5.450% 2019/7/15	優先出資証券	5.450	230	238	26,411	—
ウェルズ・ファーゴ 7.980% 2018/3/15	優先出資証券	7.980	149	154	17,130	—
三井住友 FG 9.500% 2018/7/25	優先出資証券	9.500	100	107	11,866	—
HSBC 10.176% 2030/6/30	優先出資証券	10.176	91	144	16,045	—
アクサ 6.463% 2018/12/14	劣後債	6.463	151	156	17,349	—
BNPパリバ 7.195% 2037/6/25	劣後債	7.195	200	232	25,733	—
小 計			1,588	1,737	192,267	
ユーロ(その他)			千ユーロ	千ユーロ		
ドイツバンク 8.000% 2018/5/15	優先出資証券	8.000	150	157	20,489	—
パークレイズ 4.750% 2020/3/15	優先出資証券	4.750	200	199	25,964	—
小 計			350	356	46,453	
合 計					238,720	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 銘柄の()内は、発行通貨の国名を記載しています。ただし、ユーロの場合は発行地または上場取引所の国/地域に基づき分類された国名を記載しています。うち、ユーロ圏以外の発行地または上場取引所の国/地域の銘柄については、「ユーロ(その他)」としています。

(注4) 償還年月日の「—」は永久債です。

◆ 投資信託財産の構成 (2017年8月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	238,720	86.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	37,572	13.6
投 資 信 託 財 産 総 額	276,293	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、8月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.68円、1ユーロ=130.47円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(274,444千円)の投資信託財産総額(276,293千円)に対する比率は、99.3%です。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年8月7日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	276,293,008円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	34,727,844
公 社 債 (評 価 額)	238,720,402
未 収 利 息	2,818,954
前 払 費 用	25,808
(B) 純 資 産 総 額	276,293,008
元 本	282,657,454
次 期 繰 越 損 益 金	△ 6,364,446
(C) 受 益 権 総 口 数	282,657,454口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (B / C)	9,775円

<注記事項>

- (1) 期首元本額 370,542,029円
 期中追加設定元本額 97,382,498円
 期中一部解約元本額 185,267,073円
- (2) 期末における元本の内訳
 CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジあり)(3ヶ月決算型) 168,295,089円
 CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジなし)(3ヶ月決算型) 4,612,863円
 CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジあり) 68,794,806円
 CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジなし) 40,954,696円

◆ お知らせ ◆

該当事項はございません。

◆ 損益の状況

当期：自2016年8月9日 至2017年8月7日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	18,154,112円
受 取 利 息	17,570,249
そ の 他 収 益 金	594,153
支 払 利 息	△ 10,290
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	30,982,328
売 買 益	39,020,280
売 買 損	△ 8,037,952
(C) 信 託 報 酬 等	△ 485,822
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	48,650,618
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 57,029,639
(F) 解 約 差 損 益 金	14,897,073
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 12,882,498
(H) 合 計 (D + E + F + G)	△ 6,364,446
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 6,364,446

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。